

2馬力で最高の走りを得る

SMALL TRANSOM

いかにしてボートを軽くし、フラットな走航姿勢を保つか.....

それが小さなエンジンで効率よく走るためのカギ。

ジョイクラフトのスマールトランサムは、

ポート布にくらべ重い木製のトランサムボードの小型・軽量化を図り、

逆にスターンのチューブを太くして船尾の沈み込みを抑える、

まさに2馬力ボートの理想型なのです。

走りの違いを実感してください。

レッドキャップ

RED CAP

自慢の力作スマールトランサム
ベストセラーの一艇です

免許不要艇

スマールトランサムコンセプトの原点レッドキャップは、
これまで3,000艇ほどを市場に送り出したベストセラー。

軽量&強靱な素材を用い、論理的な設計で製造されているため、
2馬力でも安定した高速走航を楽しめます。

最大クラスのレッドキャップ325ロングは長めの船内設計で
余裕のスペースが魅力です。

軽量!
1,100デンテックス
なのに船体重量
26kg

RED CAP 295



2馬力の制約が
ポートデザインを
変える



日本のパワーボートの大半を占める2馬力クラス。しかし2馬力では、性能に限りがあります。この制約のなかで最大の性能を引き出すのが、スマールトランサムコンセプト。ビッグスターンの新船型です。

新発想! スマールトランサムのメリット



一般的に2馬力の動力では、滑走が難しく、パワーを上げスターンを沈めて走行します。走航抵抗が大きくなり、燃費も悪く、風波のある状況ではあおられて危険です。2馬力艇をきちんと走らせるた

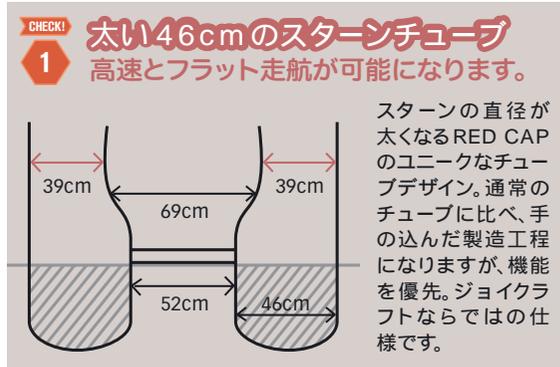
めの要素は次の3点。
軽く、硬く造ること。
パワーを押さえ、フラットにして走行させること。
風圧抵抗を小さくすること。
ジョイクラフトはこれらをクリアするため、重い合板のトランサムを小さくし軽量化。全幅を同じに保つなら、トランサムが小さくなれば、スターンチューブは必然的に太くなります。結果、大きな浮力と独特なフォルムを生み出しました。大きなスターンで船尾を持ち上げ、船首を押し下げ、フラットに走行させます。2馬力艇の安全性、走行性、燃費を飛躍的に向上させた、一石三鳥の船型です。意匠登録されており、ジョイクラフトだけが造れる船型です。



RED CAP 295



RED CAP 295 Side



3 気室+キール一体式エアフロア
2016年からジョイクラフトは、気室を1つ加増。安全性をさらにUPしました。

